

## 服部克久会長逝去に関するご報告

本会の会長、服部克久は2020年6月11日午前、末期腎不全のため、満83歳で永眠いたしました。通夜は6月15日、葬儀は6月16日、近親者、親しい方々の参列により執り行われました。なお、「お別れの会」等の実施につきましては、今般の新型コロナウイルスに関する状況を見極めながら、服部家、(株)音楽畑の皆様と検討、相談のうえ行う予定です。

日本作編曲家協会(JCAA)は1970年、服部克久会長、故宮川泰氏、故前田憲男氏、すぎやまこういち氏をはじめとする皆さんが中心となって、日本アレンジャー協会として設立され、のちに日本アレンジャーズアンドパフォーマーズ協会と改名、その後、1993年日本作編曲家協会となり、2010年一般社団法人資格を取得し、現在に至っています。

創立当時は会員30名ほどでしたが、現在は250余名。会員は「音楽を創る職業作家」であり、創立時はアレンジャーが主なメンバーでしたが、その後発展を遂げ、現在はアレンジャー、コンポーザー、プロデューサー、ソングライター、トラックメーカーなど、音楽の形態やジャンルを超え、演歌、ポップス、TVドラマ、映画、演劇、アニメ、CMなどの商業的音楽、クラシック、現代音楽などの芸術音楽、あらゆる方面の音楽で日本の音楽界を支える多種多様な作編曲家が会員です。

本会は今年創立50周年を迎えます。服部会長は、創立時の数年を除き現在まで、途切れることなく会長の座にありました。そして、著書「僕の音楽畑にようこそ」の中でこう述べています。

「僕は肩書を『作曲・編曲家』としている。編曲という仕事を大切にしてきたからだ」と。

この服部会長の発言のように、「編曲」を生業とするもの、つまり音楽界の裏方を自認する気風は我々の会の中心にあり、作編曲家協会になってもその歴史はずっと生き続けています。と同時にまた、音楽に垣根はなく多種多様な音楽の世界で働く者の集合体が本会であるという考え方も、服部会長の60年の音楽活動をみれば自明のことと思います。

服部会長のもと、本会は「裏方に徹する会員」の認知度の向上、権利擁護、生活保障などの為、いろいろな活動を行ってきました。コンサートやイベント、TV番組等のプロデュースなど皆さんに楽しんでいただける音楽をたくさん届けてきました。

そして、音楽家の権利で本当に大切な、著作権、著作隣接権等に関する組織活動等に会員が参加するなど、現在もその活動は継続しています。

創立 50 周年を迎える今、会員は広場の中心にそびえる大樹を失ったような気持ちでおり、服部会長の人柄を偲び、その業績に対し感謝を捧げ、心からの哀悼の意を表しております。

我々会員は、これからも日本の音楽界の発展を願い、服部会長の志を継続すべく、いっそう活動を広げ、皆様に喜び楽しんでいただける音楽を創り続けていく決意をあらたにしております。

皆様方にはますますのご支援ならびにご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2020 年 6 月

一般社団法人 日本作編曲家協会

副 会 長	小六 禮次郎
副 会 長	三枝 成彰
常任理事	猿谷 紀郎
常任理事	寺嶋 民哉
常任理事	外山 和彦
常任理事	萩田 光雄
常任理事	渡辺 俊幸
業務執行理事	山移 高寛
理 事	朝川 朋之
理 事	池 毅
理 事	岩城 直也
理 事	川井 憲次
理 事	北爪 道夫
理 事	小林 洋平
理 事	佐藤 直紀
理 事	篠崎 央多
理 事	すぎやまこういち
理 事	関 美奈子
理 事	千住 明
理 事	武永 京子
理 事	徳永 洋明
理 事	直居 隆雄
理 事	林 ゆうき
理 事	山下 康介
監 事	馬飼野 俊一
監 事	宮下 博次